年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　　公民　　科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　9 組

使用教科書：（ 公共（実教出版）　　）

教科　社会　　の目標：

【知識及び技能】人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために，青年期を生きる私たちは，何を考え行動すればよいかを理解する。 ・公共的な空間で生きていくために必要なこととして，個人として尊重されることや，対話を通して他者を理解することを学ぶ。 ・伝統や文化と，自らの行動様式や考え方との関係について理解する。 ・生涯にわたって学習していくことの意義を考える。	Ⅰ-①社会に生きる私たち Ⅰ-②個人の尊厳と自主・自律 Ⅰ-③多様性と共通性 Ⅰ-④キャリア形成と自己実現 Ⅱ-①伝統や文化とのかかわり	・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学べているか。 ・公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために，青年期を生きる私たちは，何を考え行動すればよいかを理解しているか。 ・公共的な空間で生きていくために必要なこととして，個人として尊重されることや，対話を通して他者を理解することを学べているか。 ・伝統や文化と，自らの行動様式や考え方との関係について理解しているか。 ・生涯にわたって学習していくことの意義を考えられているか。	○	○	○	5
	・古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し，環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。	Ⅰ-①人間と社会のあり方についての見方・考え方 Ⅰ-②実社会の事例から考える～環境保護 Ⅰ-③実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ-①公共的な空間を形成するための考え方 Ⅱ-②よりよく生きる行為者として活動するために	・古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解しているか。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し，環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えられているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。 ・人権保障のあゆみや世界の政治体制，日本国憲法などを通して，公共的な空間における基本的原理が，現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。	Ⅰ-①人間の尊厳と平等 Ⅰ-②個人の尊重 Ⅰ-③民主政治の基本的原理 Ⅰ-④法の支配 Ⅰ-⑤自由・権利と責任・義務 Ⅱ-①世界のおもな政治体制 Ⅱ-②日本国憲法に生きる基本的原理	・古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解しているか。 ・人権保障のあゆみや世界の政治体制，日本国憲法などを通して，公共的な空間における基本的原理が，現代社会でどのような形で生かされているかを理解しているか。	○	○	○	8
	・法やルールを定める時には，どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等，自由権が保障されていない問題について理解し，その解決策を考える。 ・安全で豊かに生き，法をよりよいものにするための権利や，それを実現するための法・規範を理解する。	法や規範の意義と役割 ①私たちの生活と法 ②法と基本的人権 ③自由・平等と法・規範 ④法をよりよく変えていくために	・法やルールを定める時には，どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等，自由権が保障されていない問題について理解し，その解決策を考えられているか。 ・安全で豊かに生き，法をよりよいものにするための権利や，それを実現するための法・規範を理解しているか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・民主政治を推進するために，私	政治参加と公正な世論形成	・民主政治を推進するために，私たちが果た				

2学期	たちが果たすべき責任を理解する。 ・選挙の意義や課題，世論の形成や政党の役割を理解する。 ・主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。 ・地域社会の課題に，私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを理解する。	①選挙の意義と課題 ②政治参加と世論形成 ③国会と立法 ④内閣と行政の民主化 ⑤地方自治と住民の福祉	すべき責任を理解しているか。 ・選挙の意義や課題，世論の形成や政党の役割を理解しているか。 ・主権者である国民と国会・内閣の関係を理解しているか。 ・地域社会の課題に，私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを理解しているか。				
	・日本国憲法の平和主義の下，私たちが果たすべき責任を理解する。 ・日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解する。 ・軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。	日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②核兵器の廃絶と国際平和 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割	・日本国憲法の平和主義の下，私たちが果たすべき責任を理解しているか。 ・日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を理解しているか。 ・軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考えられているか。				
3学期	・少子高齢化による労働力不足が問題となる中，活発な経済活動と労働者の働きやすさをともに成り立たせるために必要なことを理解する。 ・経済の基本的なしくみを理解し，経済的意思決定が将来の選択に役立つことを理解する。 ・労働者を守るための法や権利を理解する。 ・労働問題やその背景にある社会の変化を理解する。	雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者の権利と労働問題 社会の変化と職業観 ①技術革新の進展と産業構造の変化 ②企業の活動 ③農林水産業の現状とこれから	・少子高齢化による労働力不足が問題となる中，活発な経済活動と労働者の働きやすさをともに成り立たせるために必要なことを理解しているか。 ・経済の基本的なしくみを理解し，経済的意思決定が将来の選択に役立つことを理解しているか。 ・労働者を守るための法や権利を理解しているか。 ・労働問題やその背景にある社会の変化を理解しているか。				
	・公正で自由な経済活動を通して，市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 ・経済における政府の関わり方について，どのような考えがあるのか理解する。 ・市場における需要と供給の関係について理解する。 ・市場の失敗の例の一つである公害について，その種類や対策の取り組みを理解する。 ・国民所得や景気変動を理解し，私たちが豊かに暮らすための指標について考える。	市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場経済のしくみ ③経済発展と環境保全 ④経済成長と国民福祉	・公正で自由な経済活動を通して，市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解しているか。 ・経済における政府の関わり方について，どのような考えがあるのか理解しているか。 ・市場における需要と供給の関係について理解しているか。 ・市場の失敗の例の一つである公害について，その種類や対策の取り組みを理解しているか。 ・国民所得や景気変動を理解し，私たちが豊かに暮らすための指標について考えられているか。				合計 30